

財日医機評第5号
2024年4月5日

宮崎大学医学部附属病院
管理者 殿

公益財団法人日本医療機能評価機構
代表理事 理事長 河北 博文

病院機能評価の審査結果について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、当機構の事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、先般、貴院が受審されました病院機能評価について、下記のとおり、結果をお知らせいたします。

敬具

記

認定の判定	条件付解除
-------	-------

認定証につきましては、後日、送付申し上げます。

以上

確認審査結果報告書

宮崎大学医学部附属病院

2024 年 4 月 5 日



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

■受審種別 : 機能種別版評価項目 3rdG:Ver. 2.0 (主: 一般病院 3)
 ■確認審査
 確認審査の方法 : 書類等による審査

1. 各審査における評価および評価所見

No	項目番号	評価項目
1	2.2.3	診断的検査を確実・安全に実施している

(1) 本審査「審査結果報告書」(発行日: 2023 年 8 月 18 日)

評価: C

所見: 【適切に取り組まれている点】

診断的検査の必要性は担当医(主治医)によって判断され、患者・家族等には、検査の必要性や発生しうるリスクなどが的確に説明されている。造影剤の使用や侵襲的検査の実施にあたっては、所定の書式を用いた説明のもと同意書が取得されている。また、侵襲的検査を実施する際には、タイムアウトによる誤認防止のほか、血圧やSpO2などのモニタリングが確実に行われ、観察記録とともに診療録に記載されている。そのほか、トレッドミルによる運動負荷試験には循環器内科医が立ち会っており、検査室内の救急カートも適切に配備されている。

【課題と思われる点】

大学内の各診療科で行われる鎮静剤を使用する検査について、病院としての基準がなく、明確化および統一されていない状況であった。このため、鎮静剤の使用について、病院としての基準を設けて手順を作成し、手順に沿って実施するよう改善が求められた。指摘を受けて、「安全な鎮静のための院内基準作成ワーキンググループ」を立ち上げ、鎮静に関する現状把握を進めて、院内基準作成の検討を開始した。現在、鎮静剤の選択や使用方法の確認、各科、部署の意見交換と現状把握を行っている。ワーキンググループのメンバーは多職種、多部門により構成され活発な議論が行われている。院内基準の作成目標が9月とされており、院内周知後の運用開始は11月を目途としている。院内基準作成の検討中であり、鎮静に関する基準の完成と運用の定着に向けて引き続き改善が求められる。

改善要望事項: 鎮静剤の使用について、基準・手順を整備し、確実に運用するよう努めてください。

(2) 確認審査「確認審査結果報告書」

評価： B

所見： 本審査での指摘を受けて、医療安全管理部が責任部署となり、安全に鎮静のための院内基準作成ワーキングにおいて「検査・治療における安全な鎮静のための院内基準」「検査・治療時の鎮静薬使用に関する標準のマニュアル(手順書)」「検査・治療時の鎮静薬使用に関する考え方」整備して明示し運用している。また、各診療科では手技毎に鎮静マニュアル(手順書)を作成して鎮静 WG の承認を得て使用している。鎮静に使用する医薬品は、「鎮静に使用する医薬品使用届出書」を作成して薬剤部へ届け出る体制とし、有害事象時の届出も義務付けている。鎮静を伴う検査・治療の実施では、鎮静の必要性和リスク等について明記した「鎮静に関する説明書、同意書」を整備して利用している。また、マニュアルに鎮静剤使用時の患者管理の流れを分かりやすく示し、入室前、治療中、治療終了、退室の注意事項を詳細に記載している。また、鎮静後の覚醒の評価スコアを用いた評価も行われている。各種マニュアルは医療安全管理委員会にて承認され、院内周知のための研修会も頻回に行われている。さらに、2024 年 1 月には、病院長、安全管理責任者、麻酔科医師、選任 GRM が参加して安全な鎮静実施ラウンド確認の実施調査が行われている。鎮静剤使用に関する基準、マニュアル等の整備から実際の運用、現場の遵守状況の確認に至るまで高いレベルでの改善対応が行われている。

以上のことから、改善策に継続的に取り組まれ、定着が図られていることが確認された。なお、さらなる体制の充実に向けて継続的な取り組みが期待される。

改善要望事項： ー

2. 評価 C（改善要望事項以外）の評価項目についての取り組み状況の確認

該当項目はありません。

3. 総括

改善に取り組まれており、一定の水準に達していると判断する。

4. 認定の判定

認定の判定： 条件付解除